

政策 (- 2) 環境への負荷の少ない循環型社会の実現

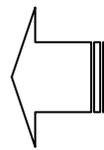
目的

健康で快適な暮らしができるよう、人の活動から発生する温暖化ガス、廃棄物や汚濁物質等によって地域や地球全体の環境へ過度の負担を与えないような循環型社会の実現をめざします。

成果指標と目標値

目標値(平成19年度)

1人1日あたりのごみ
排出量 875 g
1人あたりの二酸化炭素
排出量 7.4 t-CO²



現状値 (平成14年度)

961 g
8.1 t-CO²

環境への負荷の主要な原因であるごみと二酸化炭素の排出抑制の状況を見る指標です。

現状と課題 - 政策の取組方向 -

一人ひとりの日常生活や事業活動を通して、身近な生活環境の保全だけでなく、地球温暖化やオゾン層破壊といった地球的規模の問題、さらに、いわゆる環境ホルモンによる環境汚染などの世代を超えたさまざまな環境問題を抱えています。

将来にわたって健康で快適な暮らしをしていくため、現在の経済社会システムや生活様式そのものを見直し、様々な活動による環境への負荷を削減し、豊かな自然の循環が損なわれることのないような社会にすることが必要です。

政策の目的を達成するため、次の施策を実施します。

- 2 - 1 廃棄物等の循環システムの構築
- 2 - 2 地域における環境保全の推進
- 2 - 3 地球環境保全の推進

県民のみなさんへ

ごみを出さない暮らしやリサイクル商品の利用などに心がけましょう。
冷暖房の適切な温度管理、エコドライブに心がけるなどエネルギーの節約に取り組んでください。